One

July 5th 2021 Seto SOLAN Primary School 3-1 Vol. 11

7/1 (木) より第2クォーターがスタートしました。3年1組には2名の男の子が新たに加わり、12名で第2クォーターをスタートいたします。ラーニングコモンズなどの教室移動の際、12名が並ぶと7名の時より列がかなり長くなったので、他の先生たちからも「3年生増えたね!第2クォーターが楽しみだね!」と声をかけてもらいました。

第2クォーターでは、学年目標である「考動:自ら考え行動、判断できる」をさらに意識した学級運営をしていきたいと思います。例えば、「『自分はあまり気にならないから』といって、ふざけたつもりでの言動が、相手を傷つけてしまう」といったことが、第1Qにありました。4月に7名でスタートした段階からこういった言動はあったので、これが倍近い12名となると、起こる可能性も必然的に増えていきます。

意識するための方法の一つが、4月から行っている学習や生活面のふりかえりをより具体的に書くことです。 ふりかえりを書く習慣はついたものの、主語がなかったり、「色々、たくさん、いっぱい」といった便利な言葉で済ませたり、理由が書いていなかったりといった課題があります。ふりかえる機会を増やすことはもちろん、主語と述語、例え、理由、次への課題など、自分を客観的に見て深くふりかえることで、普段の言動でも「考えて動くこと」が少しずつできるようになると考えています。是非ご家庭でも、すぐに答えを教えたり手を差し伸べたりするのではなく、考えたりふりかえったりする機会を増やしていただければと思います。

第1クォーターのプロジェクト

完成が近づいてきた第1クォーターのデジタル Nature Map ですが、7/1 (木) の授業では、全ての Keynote スライドを貼り出し、自分たちが作ってきたスライドだけでなく、他のグループのスライドについても、誤字脱字や読めない漢字、また文章表現のおかしいところなどを確認しました。この日から加わった2名の子どもたちにとっては、全てのスライドを確認する大変な作業でしたが、初めてプロジェクトに関わる子たちからの指摘は、非常に貴重な視点です。チェックする側と、それを修正したり場合によっては図鑑で調べ直したりと、主に二手に分かれて、それぞれが助け合いながら一生懸命取り組んでいました。完成した際は、保護者の皆さまからのフィードバックを是非ともお願いいたします。

A new beginning

We are starting a new quarter this week. It made me think about how fast the first quarter seems to have passed, and yet it feels as if had been with our students for a long time. I was remembering the first day, the entrance ceremony and our first week of classes, and how I did not know anything about those seven boys sitting in front of me. Now we have more students, including our two beautiful smart girls, and I enjoy everyday learning from them about what they like or about things I do not know yet about Japan and its culture. It is also exciting to see how they are improving slowly their skills in English and other subjects, especially in Arts and Crafts. They are so creative and so funny! I honestly feel so lucky for having the chance to work with them. We have now two new students with us, and I cannot wait to get to know them better as well. I think this second quarter is going to be very interesting and that we will have a lot of fun together!

(英語担任 Lina 先生より)